

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 203番
- *交読文 39番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 107番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 521番
- メッセージ いのちの木と善悪知識の木(創世記 2:8-17)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 390番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

ひとりのみどりごが_____のために生まれました。ひとりの男の子が_____に与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神／永遠の父、平和の君」と唱えられる。(イザヤ 9:1-5)

_____の戦いの武器は肉のものではなく、神に由来する力であって要塞も破壊するに足ります。_____は理屈を打ち破り、神の知識に逆らうあらゆる高慢を打ち倒し、あらゆる思惑をとりこにしてキリストに従わせ、また、_____の従順が完全なものになるとき、すべての不従順を罰する用意ができています。(2コリ 10:4-6)

「私は、きょう、_____に対して天と地とを、証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいを、_____の前に置く。あなたは、いのちを選びなさい。」(申命記 30:19)

『主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住まわせ、人がそこを耕し、守るようになされた。』(2:15)
 主はアダムとエバをエデンに置かれたように、私達が住むべき領域に、私達を置いてくださっている。主が人を園に置き、そこを耕し守り、管理させたように、私達も、主が置いて下さった場において、そこをしっかりと耕し、守り、て管理するべきである。
 そして、主が置いて下さった生活ステージの中央には、ふた種類の木がある。
 『園の中央には、命の木と善悪の知識の木を生えいでさせられた。』(創世記 2:8-9)
人類なら誰も必ず通る「二者択一」がある。すなわち、いのちの木を取るか、それとも善悪の知識の木を取るか。それは、人類創造以降、全ての人が避けて通れない究極の選択である。
 究極の二択というと、「善か悪か」と思われやすい。しかしそうではない。聖書が提示する究極の選択は、「いのちか、善悪判断か」である。
 「園のすべての木から取って食べなさい。ただし、善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう。」(創世記 2:16-17) 神は善悪の知識の木から食べる事を、禁じられた。善悪を知る事、それはすなわち、神のようになる事である。(創世記 3:5,22)
 人は神のようになるという誘惑によって善悪の実を取って食べ、また、サタンも、神のようになるうとして地に落とされた。(イザヤ 14:14)神の命令を取って超える神から独立した善悪判断は、死へと導かれてしまう。

善悪の実を食べた時、真っ先に人に起こった事は、目が開かれた事であり(創世記 3:7)、こうしてある意味、神のようになった。しかし、神のようになった彼らが最初に気づいた事は、実は自分達は裸であった事。そこで彼らが最初に働かせた善悪判断は、恥ずかしい所をいちじくの葉で隠そうという「取り繕い」だった。このように、神のような開かれた目で周りの状況や人間をじっと見、善悪判断する事は、自らに死を招く。神から離れ、神との関わりが絶たれた人間は、所詮裸であり、弱い者であり、罪深く何も出来ない者である。自分の弱さや裸を覆うために、力や知識を蓄え、技術を発展させて自活して生きて行く生き方こそ、アダム以来の呪いの生き方の本性であり、この、神から離れて取り繕う道具「いちじくの葉」は、歴史を下るごとに進化し、やがて身を守る道具となり、武器となり、知識や学術体系となって発展して行ったが、それは所詮、自分の不完全さに対して、罪に対して、死に対して、どうする事も出来ないのだ。

どこどこに行って遊んでも良いか悪い、この映画を見ても良いか悪い、など、何でもいちいち誰かに伺いたがる人がいるが、そのように、何でも「善いか悪いか」の善悪判断で生きる生き方こそ、呪いである。律法は善悪の集大成だが、律法の行いの内にある人は全て呪いの元にある。(ガラテヤ 3:10-12)しかし、キリストは呪いの木にかけられ、私たちを、その律法の呪いから贖い出して下さった。この事は、信仰によって義とされるアブラハムの祝福が、私達に及び、私達が信仰によって約束の御霊を受けるためである。(同 13-14 節) イエス様を信じた人には、聖霊が与えられ、もはや「善いか、悪いか」という善悪判断の呪いの中ではなく、聖霊が教えて下さる導きに従って歩むのである。(ヨハネ 14:26)

現代、私達が選ぶべき「いのちの実」は、まことの食物であるイエス・キリストである。
 「わたしは命のパンである。…これは天から降って来たパンであり、これを食べる者は死なない。わたしは天から降って来た生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる。」(ヨハネ 6:48-51)
 呪いの木に掛かって下さった、イエス様という「いのちの木の実」を食べるなら、私達は生きるのである。福音は、律法のような「こうせよ/するな」という善悪の集大成ではなく、イエス・キリストという「いのちの実」を、信仰によって受け取り、いただくという、命の路線である。
 キリストは十字架を負われ、そこで自分の善悪判断を捨てられ、ただ御父のみこころに委ねられた。私達もキリストにならい、自分で善悪判断する生き方を十字架にはりつけ、それを死に渡し、いのちなるお方イエス様と共に、十字架上で両手離して御父に自らを委ねるなら、いのちを得るのである。
 神のような開かれた目で善悪判断する生き方を止め、呪いの木に架って下さったキリストといういのちの実を食べ、命を得る皆さんでありますように！イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

1 部礼拝(韓国語中国語通訳有) 10:30
 食事/フェローシップ 12:00～
 2 部礼拝 14:00
 聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈禱会 5:00～
 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
 火・木 夜の祈禱会 21:00～

水曜集会

1 部 13:00～
 2 部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
 6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
 JR・関内駅より徒歩10分
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
 毎日携帯にお届けします。
 左記コードを読み込み、
 空メールを送信するだけ!



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト